



苫小牧市議会議員
小山 征三

通信

『秋』号
2014年10月

小山せいそう後援会

苫小牧市ときわ町 1 丁目 19-23

TEL 0144 (67) 8255

平成 26 年 9 月の第 17 回市議会定例会は、市長選挙後初の定例会として岩倉市長が「市政に臨む基本方針」を説明、それに対し各会派の代表者による質問が行われました。私は、補正予算の審議で「カジノを含む統合型リゾート」予算について質疑。総務委員会では、7 町内会から提出された「旧はなぞの幼稚園の有効活用を求める陳情」を賛成の立場で市側に見解を求めました。また、特別委員会では度重なる集中豪雨を踏まえた危機管理体制の強化などを訴えました。

カジノを含む統合型リゾート誘致

法案審議を注視から一転、シンガポール視察などの予算計上は拙速

緑風、公明党、改革フォーラムの賛成で可決



補正予算（案）では、IR（カジノを含む統合型リゾート）関連として 400 万円が計上されました。この予算にはシンガポールのカジノリゾートへ 4 名を派遣し、視察する費用が含まれていました。岩倉市長は、既にカジノを含む統合型リゾートを空港周辺に誘致したい考えを表明しておりますが、6 月定例会では、IR 導入について、今後の国会での法案審議など注視していく旨の答弁でした。今回、法案の審議を待たずに調査費として予算を計上したのは、市長選挙の公約として掲げ、当選を果たしたことから強引に進められると判断したように思えます。

市長選挙の公約実現に向けて強引とも言えるスタート！

私は、この IR 関連予算に反対の立場で質疑しました。今議会では「カジノ」の冠を外して「統合型リゾート」だけを強調していましたが、実際にはカジノを誘致することに何ら変わりはありません。推進する理由としては 20 年先を見据えた政策として観光客が増え経済が活性化し、税収や雇用も増えるなどバラ色のように謳っていますが、ギャンブルでの収益で観光客を増やしても、健全な観光や経済対策につながらないとの厳しい批判があるのも事実です。カジノの悪影響としては、暴力団やマネーロンダリングの問題、ギャンブル依存症の拡大が指摘され、さらに青少年健全育成への悪影響などの問題点も挙げられています。

・・・ 課題は他にも山積 ・・・

本市は、エガオ閉鎖で疲弊する駅前再整備や企業誘致、福祉政策に防災対策など課題が山積しています。市民の賛否を問わないで IR 推進のためにシンガポールを視察するなどの予算を計上することは、市民不在の行為で拙速すぎるとして市長の見解を求めました。

当選は、市民の白紙委任か？

岩倉市長は「IR 構想は市長選挙の公約」であることを強調し、市民の理解を深めていきたい旨の答弁をしました。この答弁は、市民の賛否を問うものではなく、誘致ありきで市民を説得するための視察であることが明らかになりました。また、岩倉市長は、法案成立

北海道新聞 2014年(平成26年)9月19日(金曜日)

カジノ調査予算案可決

苫小牧市議会 一部会派反対

定例会小牧市議会は18日の本会議で、本年度一般会計補正予算案を原案通り可決した。補正予算案には、カジノを含む統合型リゾート（IR）の市民への周知活動や海外視察などにあてる可能性調査・検討事業費400万円が計上されており、審議はIR誘致の是非などをめぐって白熱。一部会派からIR関連分を削除した修正動議が出され、起立採決で否決の上、原案が賛成多数で可決された。（大脇聡、奥大卓也）

議論白熱 4 時間

補正予算案は同日の本会議で、午後5時の計4時間に及ぶ議論に提出され、審議入り。事前通告のない議員も詰め、決断は、民主・市民の風、共産、会派市民の3会派が賛成18、反対9、出席2で可決された。

IR関連分をのぞいた一般会計補正予算案の修正動議を提出したが、賛成少数で否決。続く原案の採決では賛成18、反対9、出席2で可決された。

IRの検討事業費を含めた本年度一般会計補正予算案の起立採決。一部会派が反対に回った

